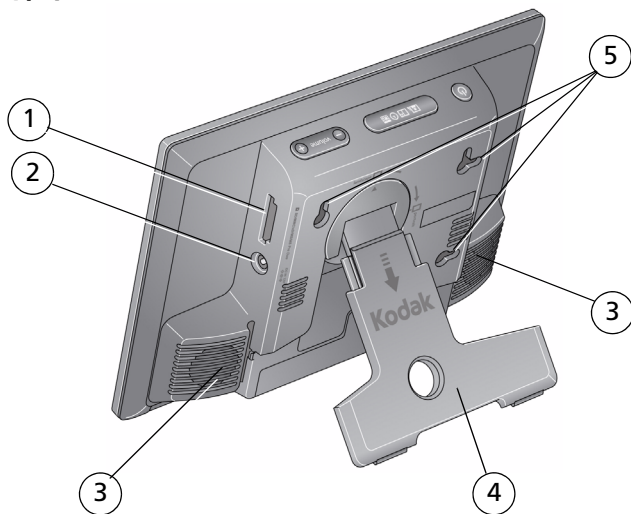
KODAK EASYSHARE デジタルフレーム

ユーザーガイド S730

www.kodak.co.jp

デジタルフレームに関するヘルプ：www.kodak.co.jp

完全ユーザーガイド	www.kodak.co.jp

背面図

1 メモリーカードスロット - SD/SDHC/MMC/XD/ MS/MS Pro Duo

2 DC 入力 12V 1.5A

3 スピーカー（2）

4 回転式スタンド

5 壁取り付け用穴（3）

前面／側面図

1 液晶モニター

クイックタッチボーダー：

2 側面タッチライト（タッチのみ）

3 下部タッチライト
（スライド／タッチ式矢印）

4 ボリュームボタン

5 モードボタン

6 電源ボタン ⏻

7 USB コネクタ（USB ドライブへ）

8 USB コネクタ（コンピュータへ）

9 オーディオ出力
（ヘッドホンまたはスピーカー）

10 スピーカー（2）

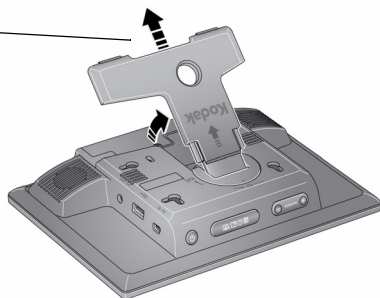
注： ボーダーから 2.5 ～ 7.6 cm の距離に手を近づけると、ライトが点灯し、タッチする場所を示します。右側のボーダーにタッチすると、アイコンが表示されます。**クイックタッチボーダーの使用方法については、**4 ページを参照してください。

1 はじめに

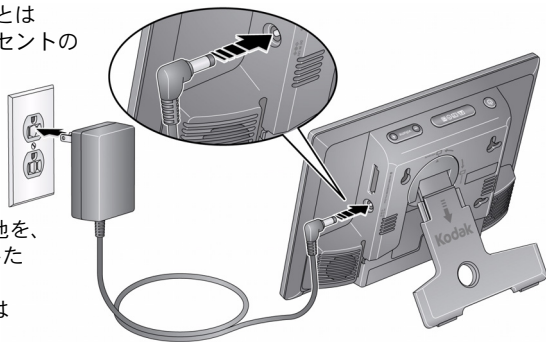
スタンドのセットアップ

引き出して、フレームを見やすい角度に調整します。

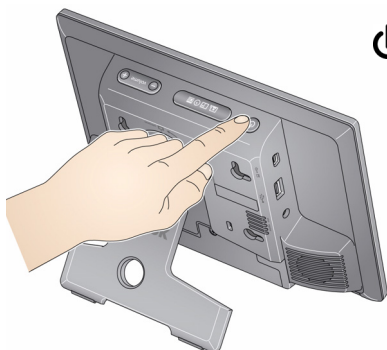
フレームには画像が横方向に表示されます。

縦方向に変更するには、フレームの向きを変えます。

電源ケーブルの接続

実際の電源ケーブルは、写真とは異なる場合があります。コンセントのタイプに合ったプラグを使用してください。

出荷時に装填されている充電池を、3時間以上電源コードを接続した状態で充電します。その際に、フレームの電源を入れる必要はありません。

 注意：

この電源ケーブルは、デジタルカメラなどの別のデバイスには使用しないでください。

フレームの電源のオンとオフ

⏻ 電源ボタン：（約 2 秒間）押したままにしてから、手を放します。

クイックタッチボーダーの使用

右側のボーダー　　タッチライト

- **指を近づける**（ボーダーから 2.5 ～ 7.6 cm の距離）と、ライトが点灯します。
- **右側のボーダー**にタッチして、アイコンを表示します。

右側のボーダーのアイコン

メニュー

再生

上に移動 ┐
下に移動 ┘ メニューとサムネールの行を移動します

OK または ✔（選択）または（画像検索）

ボーダー下部

矢印のライトをタッチまたはスライドして、画像間を両方向に移動します。

注意：

ボーダーには必ず指でタッチしてください。ボーダーは尖ったものや金属には反応しません。使用すると、画面やボーダーを傷つける恐れがあります。

画面ではなくライトにタッチ

ボーダーのライトだけがタッチに反応します。

良い例

ライトにタッチ

悪い例

画面にタッチ

右側のボーダーのタッチ

- アイコンの横のライトにタッチして選択します。アイコンを選択すると色が変わります。
- 上向きまたは下向き矢印の横のライトにタッチして、メニューまたはサムネールの行を移動します。
- OKまたは✓の横のライトにタッチして、ハイライトされたアイテムを選択します。

下部のボーダーのタッチとスライド

- 矢印のライトにタッチして、画像を1枚ずつハイライトしたり、選択されている値を変更したりします。
- 矢印のライトの間をスライドして画像をスクロールします。これは、本のページをめくるような感覚です。左にスライド◀―すると次へ、右にスライド―▶すると、前に戻ります。
- 矢印のライトを（3秒間）タッチし続けると、スクロール速度が速くなり、大量のサムネール画像を移動するのに便利です。

言語の設定

初めてフレームの電源をオンにすると、言語設定画面が表示されます。

■ 上向きまたは下向き矢印 の横のライトにタッチして言語を選択し、OK にタッチします。

言語を後で変更するには、次の操作を行います。

■ (メニュー)→ (設定)→ (言語)→ OK にタッチします。上向きまたは下向き矢印にタッチして言語を選択し、OK にタッチします。

設定が保存され、[CLOCK AND DATE](日付/時刻)画面が表示されます。

日付/時刻の設定

設定中に押したままにすると、日付/時刻が速く変わります。

1 **時刻を設定します。** 下向き矢印 にタッチして [CLOCK](時計)を選択し、左向きと右向き矢印のライトの間をスライドまたはタッチして、現在の時刻(24 時間表示)を選択します。

2 **日付を設定します。** 下向き矢印 にタッチして日付(年月日)を選択し、左向きと右向き矢印のライトの間をスライドまたはタッチして、現在の日付(年月日の 3 つを個別に設定)を選択します。

3 OK にタッチして設定を保存し、[MENU](メニュー)画面を閉じます。

設定を保存しないで画面を閉じるには、[EXIT](終了)を選択して、OK にタッチします。

日付/時刻、省エネ機能、自動タイマーを後で変更するには、次の操作を行います。

■ (メニュー)→ (設定)→ OK→ [Time/On Off](時刻オン/オフ)→ OK にタッチします。

メモリーカードの挿入

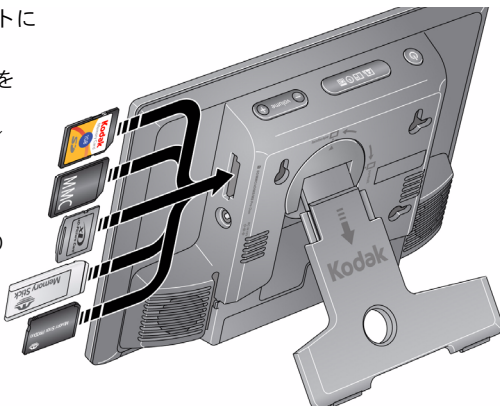
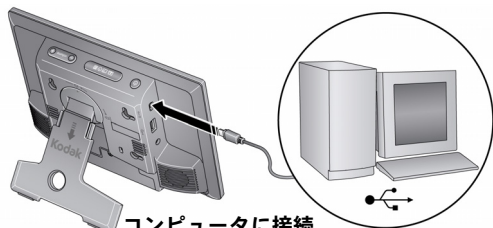
- カードを挿入するには、スロットにしっかりと押し込みます。
- カードを取り出すには、カードをスロットから引き出します。

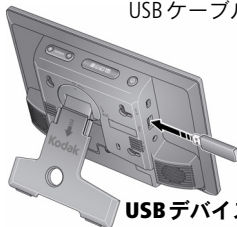
SD／SDHC（SECURE DIGITAL／SECURE DIGITAL High Capacity）

MMC（MULTIMEDIA カード）

XD

MS（MEMORY STICK）

MS Pro Duo（MEMORY STICK）

コンピュータまたはUSB デバイスの接続

コンピュータに接続

USB ケーブル（付属）

USB デバイスを接続

サポートされているUSB デバイスには、コンピュータ、フラッシュドライブ、カードリーダー、ハードドライブ * などがあります。

USB デバイスは別売りです。

* 外付けハードドライブは電源を内蔵している必要があります。

画像をすぐに表示

画像やビデオを表示するには、メモリーカードまたはその他のUSBデバイスを挿入します。
画像は自動的に再生されます。

ソフトウェアのインストール

KODAK EASYSHAREデジタルディスプレイソフトウェアを使用して、コンピュータからフレームを管理できます。同期機能を使用して、コンピュータにあるすべての画像をフレームの内蔵メモリーにコピーできます（12ページを参照）。

CDはフレームに付属。

デジタルディスプレイソフトウェアのアイコン

EASYSHAREソフトウェアのアイコン

1 CDをコンピュータに挿入し、画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

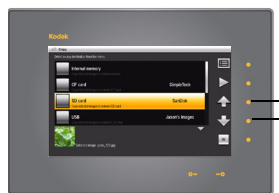
- EASYSHAREデジタルディスプレイソフトウェアをインストールし、EASYSHAREソフトウェアの旧バージョンをアップグレードするには、［標準］をクリックします。インストールするアプリケーションを選択するには、［カスタム］をクリックします。
- アップデート：デジタルディスプレイソフトウェアのアップデートがWebに公開されている場合は、インストール中にメッセージが表示されます。最新バージョンをインストールして、同期を含む新機能を利用するには、［はい］をクリックします。

2 デジタルディスプレイソフトウェアが自動的に開かない場合は、デスクトップにあるソフトウェアのアイコンをダブルクリックします。

登録を要求するメッセージが表示されたら、ぜひフレームとソフトウェアを登録してください。ご登録いただくと、登録ユーザー専用の使いこなし情報や特典をご利用いただけるようになります。後で登録する場合は www.kodak.co.jp にアクセスしてください。

2 画像やビデオの表示

画像やビデオの表示

フレームの内蔵メモリーまたは接続中の保存メディアに保存されている画像やビデオを表示します。

上向きまたは
下向き矢印

1 (メニュー)、(画像とビデオ) の順にタッチします。

接続中の保存メディアと内蔵メモリーの一覧が表示されます。

2 上向きまたは下向き矢印にタッチして画像保存メディアを選択し、次の操作を実行します。

- (再生) にタッチして、選択した保存メディア内の画像の再生を開始します。
- または、OK にタッチして、選択した保存メディア内の画像のサムネールを表示します。

画像保存メディア：

デフォルトの再生場所：自動的に参照する場所 (16 ページを参照)。

内蔵メモリー：フレームの 1 GB の内蔵メモリー。

内蔵メモリー内の (同期) フォルダに、コンピュータからコピーされた画像とビデオのコレクションが含まれます (12 ページを参照)。

メモリーカード：カードを挿入すると表示されます (7 ページを参照)。

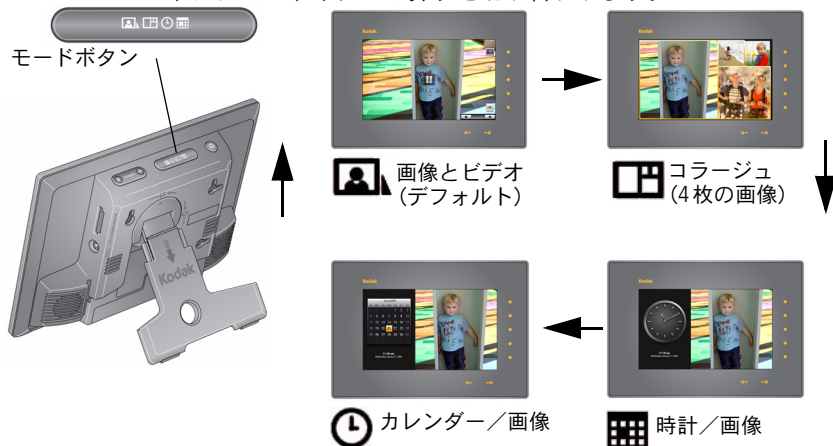
USB ドライブ：USB フラッシュまたはその他の種類のドライブを挿入すると表示されます (7 ページを参照)。

再生情報

- デフォルトの表示順序は［Shuffle］（シャッフル）です。［Shuffle］（シャッフル）をオフにして別の表示順序に変更するには、 （メニュー）→ （設定）にタッチします。［Shuffle］（シャッフル）と［Display Picture Order By］（画像の表示順序）の設定を使用します（22 ページを参照）。
- 表示時間（各画像が画面に表示されている時間）および画像が切り替わるときの表示方法を変更できます。「フレーム設定の変更」（22 ページ）を参照してください。

表示モードの変更

モードボタンを押すと、4 つのフレーム表示モード（画像、コラージュ、時計、カレンダー）を簡単に切り替えることができます。

フレームのモードは、モードボタンを押すと切り替わります。

注： ビデオやマルチメディアスライドショーは、コラージュモードでは再生できません。

コンピュータ内の画像コレクション全体のコピー

KODAK EASYSHARE デジタルディスプレイソフトウェアの同期機能を使用して、コンピュータ内のすべての画像とビデオのコレクションを作成し、コレクションをフレームの内蔵メモリーにコピーできます。

コレクションが作成されるとき、画像はフレームに収まるように低解像度に縮小されます。ビデオは元の解像度でコピーされます。

コンピュータ側

1 リムーバブルデバイス（メモリーカードまたは USB ドライブ）をコンピュータに挿入します。

2 KODAK EASYSHARE デジタルディスプレイソフトウェアを開きます（デスクトップの をダブルクリック）。ソフトウェアのインストールについては、8 ページを参照してください。

注： 最新のアップデートをダウンロードし、インストールすることで、同期を含むデジタルディスプレイソフトウェアの新機能をすべて利用できます。www.kodak.co.jp を参照してください。
デジタルディスプレイソフトウェアの使用の詳細については、ヘルプメニューをクリックしてください。

3 右側のペイン上部にある （同期）タブをクリックし、画面の指示に従います。

このコレクション内の画像はサイズが変更されてからカードまたは USB ドライブにコピーされます。

また、フレームをコンピュータに接続し、画像をフレームに直接同期することもできます。詳しくは、完全ユーザーガイド（www.kodak.co.jp）を参照してください。

フレーム側

- コンピュータからデバイスを取り外し、フレームに挿入します。

  コレクションが使用可能であることを示すメッセージがフレームに表示されます。コレクションは内蔵メモリーにコピーするか、コピーしないで表示できます。

  コレクションをフレームでいつでも表示できるようにするには、［Menu］（メニュー）➡［Pictures & Videos］（画像とビデオ）➡［Internal Memory］（内蔵メモリー）にタッチします。次に （同期）フォルダを選択し、 （再生）にタッチします。

画像検索 — 類似する画像の自動再生

フレームに多数の画像がある場合（たとえばコンピュータからコレクション全体をコピーした場合、12 ページを参照）、特定の画像が簡単に見つかると便利です。画像検索 ではそれが可能です。

任意の保存メディアから、また任意の表示モードで画像をフレームに表示しているときに、次の操作を行います。

1. 右側のボーダーにタッチしてアイコンを表示し、再生を一時停止します。
2. 画像検索ボタン の横のライトにタッチします。

   選択されている画像と同じ日に撮影された画像の再生が始まります。

サムネールの表示

画像の再生中、または画像の 1 枚表示中に次の操作を行います。

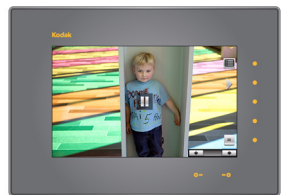
1 タッチボーダーにタッチしてアイコンを表示し、（メニュー）にタッチします。

2 （サムネール）にタッチします。

注： [Pictures & Videos]（画像とビデオ）の保存メディアのリストからサムネールを表示することもできます（10 ページを参照）。

サムネールを表示するときのヒント

- 次の行または前の行に移動するには、右側のボーダーにある上向きまたは下向き矢印のボタンにタッチします。
- サムネール内を移動するには、矢印にタッチするか、下部のスライダに指を当てて左右に動かします。サムネール間を高速で移動するには、速度が変わるまで押し続けます（約 3 秒間）。
- 画像をフォルダ単位で再生するには、フォルダを選択し、（再生）にタッチします。
- ビデオまたはスライドショーを再生するには、サムネールを選択し、（再生）にタッチします。

画像の 1 枚表示

- 1 枚の画像を全画面で表示するには、サムネールビューで画像を選択し、OK にタッチします。
- または、スライドショーの再生中に右側のボーダーにタッチします。スライドショーが一時停止し、画像ビューが表示されます。OK にタッチしてアイコンとライトを非表示にします。

■ 画像検索 にタッチすると、表示されている画像と同じ日に撮影された画像のスライドショーが開始します（「画像検索 — 類似する画像の自動再生」（13 ページ） を参照）。

ビデオの再生

サムネールビューから — ビデオのサムネールを選択し、OK にタッチします（MOV 形式のビデオはムービーアイコン が表示され、AVI、MPEG、MPG の各形式のビデオは最初のフレームが表示されます）。

画像の再生中 — ビデオが自動的に再生されます。ビデオが終了すると、スライドショーが次の画像またはビデオに進みます。

ビデオの一時停止 — 右側のボーダーにタッチしてビデオを一時停止（ ）します。15 秒間何も操作がない状態が続くと再生が再開されます。

ビデオのコントロール （右側または下部のボーダーにタッチするとアイコンが表示されます）	
▶	ビデオの再生と再開
◀◀ ／ ▶▶	巻き戻し／早送り

スライダバーと矢印 （下部のボーダー）
次または前の画像またはビデオを表示するには、下部にある矢印のライトにタッチします。

注： KODAK デジタルフレームは、デジタルカメラで撮影したビデオの形式に対応しています。その他のデバイスで作成されたり、その他の保存メディアからコピーされたビデオはフレームで再生できない場合があります。
HD（ハイビジョン）ビデオファイルはフレームでサポートされていないので、再生できません。

デフォルトの再生場所の設定

お気に入り画像を保存する画像保存メディア（内蔵メモリー、メモリーカード、USB ドライブなど）をデフォルトの参照場所として設定します。

1 画像を表示しているときに、クイックタッチボーダーにタッチします。

再生が一時停止し、ライトと画面のアイコンが表示されます。

2 （メニュー）にタッチし、（設定）にタッチします。

3 上向きまたは下向き矢印にタッチして、デフォルトの再生場所を選択します。

4 上向きまたは下向き矢印にタッチして、次のいずれかのオプションを選択します。

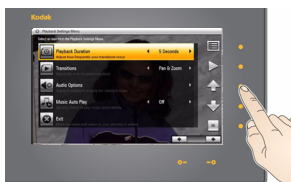
- ［Yes］（はい）：設定を確定します。
- ［No］（いいえ）：メニューを終了します。
- ［Clear my Default Play Location］（デフォルトの再生場所をクリアする）：現在指定されている画像保存メディアへの参照を削除します。

フレームの電源を入れなおすと、［Settings］（設定）メニューで入力した画像保存メディア内の画像が自動的に再生されます。

デフォルトの再生場所アイコンが［Pictures & Videos］（画像とビデオ）リストに表示されます（10 ページを参照）。これは使用している画像保存メディアを示すものです。

3 フレームのさまざまな利用方法

メニューオプションの表示

画像やビデオを表示または操作したり、フレームの設定を変更したりできます。

1 (メニュー)にタッチします。

2 上向きまたは下向き矢印にタッチしてメニューオプションを選択し、OK にタッチします。

重要： 選択可能なオプションをすべて確認するには、上向きまたは下向き矢印に繰り返しタッチしてください。

メニューオプション	説明
Pictures & videos（画像とビデオ）	表示可能なすべての画像またはビデオを表示または再生します（10 ページを参照）。
Slide shows（スライドショー）	マルチメディアのスライドショーを再生します。完全ユーザーガイドを参照してください。
Thumbnails（サムネール）	画像をサムネールとして表示します（14 ページを参照）。
Multi-select（複数画像の選択）	コピー、回転、削除、または再生の対象として複数の画像を選択できます（18 ページを参照）。
Select All（すべて選択）／Deselect All（すべて選択解除）	現在の画像保存メディアの内容をすべて選択または選択解除します（18 ページを参照）。［Multi-select］（複数画像の選択）メニューでのみ利用可能です。
Copy（コピー）	「フレームへのコピー」（18 ページ）を参照してください。
Rotate（回転）	完全ユーザーガイドを参照してください。
Delete（削除）	「画像やビデオの削除」（19 ページ）を参照してください。

メニュー オプション	説明
Music（音楽）	現在の保存メディア内の曲を表示または再生します （20 ページを参照）。
Settings（設定）	フレームをカスタマイズします。「フレーム設定の変更」（22 ページ）を参照してください。
Exit（終了）	選択内容を保存しないでメニュー画面を閉じます。

完全ユーザーガイド	www.kodak.co.jp

複数画像の選択

複数画像の選択機能を使用すると、複数の画像を一度にコピー、削除、または回転させることができます。また、スライドショーで再生する画像を選択することも可能です。

1 (メニュー）にタッチし、下向き矢印にタッチして、［Multi-Select］（複数画像の選択）を選択します。OK にタッチします。

2 画像を検索して選択するには、矢印のライトにタッチするか、矢印のライトの間をスライドして、(選択）にタッチします。

選択した画像にチェックマークが表示されます。

3 画像の選択を続行します。すべて一度に選択または選択解除するには、もう一度［Menu］（メニュー）にタッチします。

フレームへのコピー

現在の表示場所から、接続されているその他のデバイス（7 ページを参照）またはフレームの内蔵メモリーに画像、ビデオ、または音楽をコピーできます。

注意：

コピー中にカードを取り出したり、デバイスを取り外したりしないでください。

1 サムネールビューで画像を選択するか（14 ページを参照）、画像を 1 枚表示します（14 ページを参照）。複数の画像を選択するには、18 ページを参照してください。

2 （メニュー）にタッチし、上向きまたは下向き矢印にタッチして（コピー）を選択します。OK にタッチします。

3 上向きまたは下向き矢印にタッチしてコピー先を選択し、OK にタッチします。

内蔵メモリーにコピーする場合の注意事項

画像をフレームの内蔵メモリーにコピーすると、コピーされた画像のサイズは自動的に変更され、解像度が低くなります。フレームに表示する画像は最高解像度である必要がなく、また最高解像度のまま画像を保存するとフレームの内蔵メモリーの容量がすぐにいっぱいになってしまいます。

自動サイズ変更機能をオフにするには、[Menu]（メニュー）→ [Settings]（設定）→ [Automatic resizing]（自動サイズ変更）にタッチします（「フレーム設定の変更」（22 ページ）を参照）。

ビデオは常に元の解像度でコピーされます。

画像やビデオの削除

注意：
削除中にカードを取り出したり、デバイスを取り外したりしないでください。

1 サムネールビューで画像を選択するか（14 ページを参照）、画像を 1 枚表示します（14 ページを参照）。複数の画像を選択する方法については、18 ページを参照してください。

2 （メニュー）にタッチし、上向きまたは下向き矢印にタッチして（削除）を選択します。

3 [Yes]（はい）を選択して確定します。

4 OK にタッチすると、画像が削除され、メニューに戻ります。

削除しない場合は、[No]（いいえ）を選択し、OK にタッチして、メニューに戻ります。

音楽の再生 —MP3 ファイル

音楽の自動再生

フレームでは、画像やビデオの再生時にバックグラウンドの音楽（MP3 ファイル）が自動的に再生されます。音楽ファイルは、画像やビデオと同じ保存メディア（内蔵メモリー、メモリーカード、USB ドライブ）にある必要があります。

音楽の自動再生をオフにするには、[Music auto-play]（音楽の自動再生）をオフに設定します。「フレーム設定の変更」（22 ページ）を参照してください。

音楽の手動再生

1 [Music auto-play]（音楽の自動再生）をオフに設定します。「フレーム設定の変更」（22 ページ）を参照してください。

2 （メニュー）にタッチします。下向き矢印にタッチして （音楽）を選択し、OK にタッチします。

現在の保存メディアにあるすべての音楽ファイルのリストが表示されます。

3 上向きまたは下向き矢印にタッチして曲を選択し、 にタッチして選択します。

この操作を繰り返して他の曲を選択します。

リスト内の全曲を選択するには、 （メニュー）にタッチし、下向き矢印にタッチして [Select All]（すべて選択）を選択します。

4 （再生）にタッチします。

画像の再生が再開し、選択した曲がバックグラウンドで再生されます。

フレームでの音楽ファイルの操作

[Music]（音楽）メニューで音楽ファイルを操作できます。[Music]（音楽）メニューを表示するには、次の操作を行います。

1 （メニュー）にタッチし、下向き矢印にタッチして（音楽）を選択し、OK にタッチします。使用可能な音楽ファイルのリストが表示されます。
2 （メニュー）をもう一度タッチして音楽メニューを表示します。

[Music]（音楽）メニューのオプション	説明
Copy（コピー）／ Delete（削除）	音楽ファイルをコピーまたは削除します。
Select All（すべて選択）／ Deselect All（すべて選択解除）	コピー、削除、または再生の対象として、現在の保存メディア内の全曲を選択または選択解除します。
Shuf f le play（シャッフル再生）*	選択した曲をランダムな順序で再生します。
Audio priority（オーディオ優先順位）*	音楽とビデオを同時に再生しているときに、音楽を再生するか、ビデオのオーディオを再生するかを選択します。
Exit（終了）	選択内容を保存しないでメニュー画面を閉じます。

* [Shuffle play]（シャッフル再生）と [Audio priority]（オーディオ優先順位）は [Settings]（設定）メニューにもあります（「フレーム設定の変更」（22 ページ）を参照）。

フレーム設定の変更

[Settings]（設定）メニューのオプションを使用すると、フレームのカスタマイズや設定を行えます。

重要： 選択可能なオプションをすべて確認するには、上向きまたは下向き矢印に繰り返しタッチしてください。

1 (メニュー）にタッチし、(設定）にタッチします。
2 上向きまたは下向き矢印にタッチし、設定を選択し、OK にタッチします。
3 画面の指示に従います。OK にタッチして選択を確定します。
4 (再生）にタッチすると、現在の画像から再生に戻ります。(メニュー）にタッチすると、メニューの最上位に戻ります。

[Settings]（設定）メニュー	
設定	**説明**
Upgrade Firmware（ファームウェアのアップグレード）	この設定は、アップグレードファイル（.img）が、挿入されているメモリーカードまたはフラッシュドライブにあるか、内蔵メモリーにコピーされている場合にのみ表示され、使用できます（24 ページを参照）。
Duration（表示時間）	各画像の表示時間を指定します。 注： [Transition]（表示方法）に [Zoom & pan]（ズームとパン）を設定すると、[Duration]（表示時間）は常に10 秒になります。
Transition（表示方法）	再生する画像間の表示スタイルを指定します。
デフォルトの再生場所	デフォルトの参照場所を設定します（16 ページを参照）。
Shuffle（シャッフル）	画像をランダムな順序で再生します。
Slide Show Starting Point（スライドショーの開始点）	再生の開始位置を指定します。
Music auto play（音楽の自動再生）	画像の再生中に音楽を自動的に再生します（20 ページを参照）。
Brightness（明るさ）	画面の明るさを調整します。

[Settings]（設定）メニュー	
設定	**説明**
Automatic Resizing（自動サイズ変更）	画像を低解像度（小さいサイズ）または元の解像度（大きいサイズ）で内蔵メモリーにコピーできます。19 ページを参照してください。
Fit or Fill（縮小または全画面表示）	画面に表示する画像のサイズ設定を指定します。
KODAK PERFECT TOUCH テクノロジー	フレームに表示する画像の品質を自動的に最適化します。
Display Picture Order By（画像の表示順序）	画像を再生する場合の表示順序（日付順またはファイル名順）を指定します。 注： [Shuffle]（シャッフル）が [On]（オン）の場合、この設定に関係なく、画像はランダムな順序で再生されます。
[Time/On Off]（時刻オン／オフ）	日付／時刻、省エネ機能 *、自動タイマーを設定します。 * 省エネ機能は、2009 年 9 月以降のファームウェアが搭載されたフレームで使用できます。以下の About this frame（フレーム情報）を参照してください。
Audio Options（オーディオオプション）	音楽の再生方法を設定します。 フレームで音楽を再生する詳しい方法については、20 ページを参照してください。
Language（言語）	使用する言語を選択します（6 ページ）。
About this frame（フレーム情報）	フレームのモデル、シリアル番号、およびファームウェアバージョンを確認します。
Exit（終了）	操作を実行または保存せずに、最上位のメニューに戻ります。

完全ユーザーガイド	www.kodak.co.jp

ファームウェアのアップグレード（推奨）

ファームウェアとは、フレーム上で実行されているソフトウェアです。

1 コンピュータで www.kodak.co.jp にアクセスし、画面の指示に従ってフレームのファームウェアをコンピュータにダウンロードします。

2 IMG ファイルをメモリーカードまたは USB フラッシュドライブの（フォルダやサブフォルダではなく）最上位ディレクトリにコピーし、フレームに挿入します。

3 （メニュー）にタッチし、（設定）にタッチします。

4 ［Firmware Upgrade］（ファームウェアのアップグレード）を選択し、OK にタッチして、アップグレードを開始します。

アップグレードには長くて 5 分間かかる場合があります。

アップグレードが完了すると、フレームが自動的に再起動します。

注意：

アップグレードが完了し、フレームが再起動されるまで、フレームの電源をオフにしたり、メモリーカードや USB フラッシュドライブを取り外したりしないでください。

フレームを壁にかける

フレームを壁にかけるには、スタンドを閉じ、壁取り付け用の金具（別売品）を使用して、フレームを壁にしっかりと固定します。

取り付け用穴の場所については、「背面図」（1 ページ）を参照してください。

フレームについて

www.kodak.co.jp	フレームの詳細、およびアクセサリーについて。
www.kodak.co.jp	完全ユーザーガイド 対話型トラブルシューティング、修理 対話型チュートリアル FAQ ソフトウェアとファームウェアのダウンロード 製品登録

4 トラブルシューティングとサポート

詳細な製品サポートについては、Kodak のホームページのサービス＆サポートを参照してください。

ピクチャーフレームに関して

問題の概要	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
フレームの電源がオンにならない。	■ フレームに付属の電源ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください（3 ページを参照）。 ■ 電源ケーブルを 5 秒間抜いてから、もう一度接続してください。電源ボタンを（約 2 秒間）押してから、手を放します。
メモリーカードまたは USB デバイスを接続しても、何も起こらない。	■ 画像が保存されている SD/SDHC/MMC/XD/MS/MS Pro Duo 対応カードをカードスロットに挿入し、しっかりと押し込んでください（7 ページを参照）。 ■ USB デバイスがしっかりと接続されていることを確認してください（7 ページを参照）。 ■ 画像やビデオのファイル形式がサポートされていることを確認してください（完全ユーザーガイドを参照）。 注： 画像またはビデオファイルのサイズが大きい場合、または大容量のメモリーカードやその他の接続デバイスを使用している場合は、画像の表示に時間がかかることがあります。
タッチボーダーが機能しない。	■ クイックタッチボーダーを触って選択してください（4 ページを参照）。ボーダーに点灯するライトは、タッチする場所を示します。 **重要：** 右側のボーダーをスライドしないでください（タッチのみ）。 ■ 電源ケーブルを 5 秒間抜いてから、もう一度接続してください。電源ボタンを（約 2 秒間）押してから、手を放します。

問題の概要	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
フレームの電池が消耗する（電源ケーブルが接続されていないとき）。電池で動作しないか、1時間未満しか動作しない。	■ 電池を充電してください（3 ページを参照）。 ■ 電池をリフレッシュしてください。 – 電池をフル充電します。電源コードを接続し、3 時間以上そのままにします。 – 電池を完全に使い切ります。電源ケーブルを取り外し、フレームを起動し、残量が完全になくなるまで電源をオンにしておきます（フレームは自動的に電源がオフになります）。 – この手順を 2、3 回繰り返します。 ■ 電池を交換する必要がある可能性があります。www.kodak.co.jpを参照してください。
フレームがまったく動作しないか、 正しく機能しない。	■ 電源ケーブルを 5 秒間抜いてから、もう一度接続してください。電源ボタンを（約 2 秒間）押してから、手を放します。 ■ フレームをリセットします。モードボタンと電源ボタン（2 ページを参照）を同時に押し、[Yes]（はい）にタッチしてフレームをリセットします（フレームをリセットしても、保存されたファイルは消去されません）。
ビデオのオーディオが再生されない。	■ ボリュームボタンの + を押してください（2 ページを参照）。
自動オン／オフを設定したが、指定した時間になってもフレームがオンまたはオフにならない。	■ フレームの電力がなくなると、時計の時刻は出荷時の設定に戻り、自動オン／オフ時間は無効になります。「電源がオフになった後の時計とカレンダーのリセット」（28 ページ）を参照してください。

問題の概要	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
コピー先のデバイス（メモリーカードまたはUSBフラッシュ）がいっぱいでないのに、画像をデバイスにコピーできない。	お使いのストレージデバイスがFAT（File Allocation Table）16でフォーマットされている場合、最上位（ルート）ディレクトリに保存できるファイル数は512個までに制限されます。すべての画像を正しくコピーするには、コピー先のデバイスをFAT32にフォーマットしてからコピーしてください。 **注意：フォーマットを行うと、保護されているファイルを含むすべての画像とビデオが削除されます。** **1** デバイスをコンピュータに接続します。 **2** ［マイ コンピュータ］を開き、デバイスを指定します。 **3** デバイスを右クリックし、［フォーマット］を選択します。 **4** ［ファイルシステム］ドロップダウンメニューで［FAT32］を選択し、［開始］をクリックします。

電源がオフになった後の時計とカレンダーのリセット

フレームの電源をオフにするか、電力が切れてから12時間以上経過すると、時計とカレンダーが出荷時の設定に戻り、自動オン／オフ時間の設定が無効になります。

フレームの電源をオンにすると、［Clock and Date］（日付／時刻）画面が表示されます。

1 時刻を設定します。

矢印のライトをタッチまたはスライドして、現在の時刻（24時間表示）を選択します。

2 日付を設定します。

下向き矢印 にタッチして日付（年月日）を選択し、左向きと右向き矢印のライトの間をスライドまたはタッチして、現在の日付（年月日の3つを個別に設定）を選択します。

3 OKにタッチします。

時刻はリセットされ、自動オン／オフ時間を設定した場合は、再び有効になります。オン／オフ時間をリセットする必要はありません。

注： 時刻を設定せずに［Clock and Date］（日付／時刻）画面を終了した場合は、時計を手動でリセットして、自動オン／オフ時間をもう一度有効にできます（6 ページを参照）。オン／オフ時間をリセットする必要はありません。

5 付録

安全に関する重要事項

注意：

本製品は分解しないでください。製品内部にお客様が修理可能な部品はありません。修理については、コダックお客様相談センターにお問い合わせください。本製品を液体、湿気、極度の高温／低温にさらさないでください。本ユーザーガイドで指定されている以外の制御、調整、または手順を行った場合、感電や電気的または機械的な危害を招く恐れがあります。液晶画面が破損した場合は、ガラスや液体に触れないでください。お客様相談センターにご連絡ください。

- Kodak が推奨するアクセサリー以外のアクセサリーを使用すると、火事、感電、または負傷の危険性があります。
- フレームに付属の AC アダプターだけをご使用ください（Leader Electronics Inc. の AC アダプターモデル #MU18-D120150-A1、ヨーロッパでは Phihong AC アダプターモデル #PSA18R-120P）。それ以外の AC アダプターを使用するとフレームを損傷する恐れがあり、また保証が無効になる場合があります。
- スタンドを伸ばした状態で表示した場合、フレームは 68 ～ 76° の角度になります。
- 火のついたロウソクや暖房器具など、火元の近くにフレームを置かないようにしてください。
- 極端に大きな音量でイヤホンやヘッドホンを利用すると、聴力をそこなう危険があります。
- フレームから電池を取り出した後は冷ましてください。熱くなっている場合があります。
- 電池は子供の手の届かないところに保管してください。
- 硬貨などの金属に電池が触れないようにしてください。金属に触れると、ショート、放電、または液漏れが発生したり、熱くなったりすることがあります。
- 電池を分解したり、向きを逆にして装着しないでください。また、液体、湿気、火気、極度の高温／低温にさらさないでください。
- 長期間に渡って本製品を使用しない場合は、電池を取り外してください。万一、本製品内で電池が液漏れした場合は、修理が必要となります。
- 万一、電池の液漏れが皮膚についた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。
- 不要になった電池は一般のゴミと一緒に捨てないでください。販売店にお持ちいただくか、Kodak までお送りください。詳細については、www.kodak.co.jp を参照してください。

その他のお手入れとメンテナンス

- クリーニングは、必ず電源をオフにした状態で行ってください。フレームの表面や部品をクリーニングする際には、水、クリーニング液、接着剤などを使用しないでください。フレームと画面は清潔で乾いた起毛のない布でそっと拭いてください。フレームの表面についた指紋は、軽くこすって拭き取ってください。
- 国によってはサービス契約があります。
- デジタルフレームの廃棄やリサイクル情報については、最寄りの自治体に問い合わせてください。米国内の場合は、Electronics Industry Alliance の Web サイト（www.eiae.org）または Kodak の Web サイト（www.kodak.com/go/digitalframesupport）を参照してください。

限定保証

Kodak は、KODAK 一般向け電子製品およびアクセサリー（以下「製品」。電池を除く）が購入日から一年間、素材および製造上に起因する不具合があった場合、無償修理を行うことを保証します。購入日が明記された保証書または領収書のオリジナルは保管しておいてください。保証期間内の修理には、購入日の証明が必要になります。

限定保証の対象

保証サービスは、製品を最初に購入した国においてのみ有効です。製品を購入した国内の認定サービス業者に製品を配送する必要がある場合、その費用はお客様の負担となります。保証期間中に製品が正しく機能しない場合は、ここに記載した条件および制限付きで、それらを修理または交換いたします。保証サービスには、必要な調整や交換部品に加え、労務費のすべてが含まれます。Kodak が製品を修理または交換できない場合は、Kodak の判断において、製品の購入価格を返金します。この場合、製品の返品とともにお客様が支払った購入価格の証明が必要になります。修理、交換、または購入価格の返金が唯一の保証手段となります。修理に交換部品を使用する場合、それらの部品は再生品であったり、再製造された部品が含まれている可能性があります。製品全体を交換する必要のある場合は、再生品と交換する可能性もあります。再生品、部品、および材料の保証期間は、元の製品の保証期間の残存期間、または修理日あるいは交換日から 90 日間のいずれか長い方とします。

制限

Kodak の管理の及ばない状況で発生した問題は、この保証の対象外となります。出荷による損傷、事故、改造、変更、認可されていない修理、誤用、乱用や、互換性のないアクセサリーや機器（サードパーティ製のインク、インクタンクなど）と併用した場合、Kodak の操作、保守、開梱の指示に従わなかった場合、または Kodak 提供の製品（アダプターやケーブル）を使用しなかった場合に生じた故障には、この保証は適用されません。Kodak は、本製品に対してこれ以外の明示的または黙示的な保証を行いません。また、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的な保証も放棄します。法律によって黙示的な保証の除外が無効とされる場合、黙示保証の期間は、購入日から一年間または法律によって要求される期間とします。Kodak が負う唯一の責務は、修理、交換、または返金です。Kodak は、原因にかかわらず、本製品の販売、購入、または使用から生じた特別、必然的または偶発的な損害に対しては一切責任を負いません。特別、必然的、または偶発的な損害（製品の購入、使用、故障のために発生した場合の収入または利益の損失、ダウンタイムの費用、機器が使用できないための損害、代替機器の費用、設備やサービス、顧客のクレームなどを含みますが、この限りではありません）に対する責任は、原因や書面または黙示的な保証の違反にかかわらず、明示的に否認します。

規格との適合と勧告

FCC 準拠および勧告

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

カナダ通信局声明文

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

CE

Eastman Kodak Company はここに、本 KODAK 製品が Directive 1999/5/EC の必須要件およびその他の関連条項に準拠していることを宣言します。

オーストラリア C-Tick マーク

MPEG-4

消費者が個人的かつ非営利目的で使用する場合を除き、MPEG-4 ビジュアル規格に準拠した、いかなる方法でも本製品を使用することは禁止されています。

廃電気電子機器に関するラベル

ヨーロッパ：人体および環境保護対策として、本製品と電池を廃棄する場合は、都市ゴミとは区別し廃棄を目的とした収集施設で捨てていただく必要があります。詳しくは、販売店、廃棄物収集施設、最寄りの自治体にお問合わせいただくか、www.kodak.com/go/recycle にアクセスしてください（製品の重さ：816 g）。

ロシア GOST-R

Eastman Kodak Company
Rochester, New York 14650
Цифровая фоторамка изготовлена в Китае; остальные элементы - в соответствии с маркировкой

ライセンス

本製品の供給は、ライセンスの譲渡、および本製品を使用して作成されたコンテンツを営利目的の放送システム（地上波、衛星、有線、その他の配信チャンネルを含む)、ストリーミングアプリケーション（インターネット、イントラネット、その他のネットワーク含む）、その他のコンテンツ配信システム（有料視聴サービスやオーディオオンデマンド含む）、または物理メディア（CD、DVD、半導体チップ、ハードドライブ、メモリーカード含む）で配布する権利の譲渡を意味するものではありません。このような使用目的の場合は、個別にライセンス提供を受ける必要があります。詳細については、http://mp3licensing.com でご確認ください。

ENERGY STAR 製品

ENERGY STAR® 認定製品

中国 RoHS

Product Disclosure Table
KODAK Digital Picture Frames
有毒有害物质或元素名称及含量标识表
table of hazardous substances' name and concentration

部件名称 Component name	有毒有害物质或元素 hazardous substances' name					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr6+)	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
交流变压器电路板元件 AC Adapter circuit board components	x	o	o	o	o	o
数码相架电路板元件 Digital Photo Frame circuit board components	x	o	o	o	o	o
数码相架外壳 Digital Photo Frame Enclosure	o	o	o	o	o	o

O：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006规定的限量要求。
O：indicates hazardous substance concentration lower than MCV
×：indicates hazardous substance concentration higher than MCV